

住民自治協議会だより



目次 P1; 事業報告 (総務部会) P2; 事業報告 (安全・防災、健康・福祉部会)
P3; 事業報告 (健康・福祉部会、事務局職員募集) P4; 事業報告 (教育・文化部会)・各区紹介 (往生地)

平成 24 年 10 月 15 日発行 発行者 第一地区住民自治協議会 会長 竹本次雄

◆ 大切なとなり近所のお付き合いや地域の交流 ◆

今年度第一地区の視察研修は、平成 16 年の新潟中越地震の小千谷市、長岡市を訪ね、地震の怖さや土砂崩落の恐ろしさについて学びました。

両市の担当者の説明で口をそろえて指摘されたことは、災害を経験した教訓として日常の隣近所の「絆」の構築と災害に備えた訓練の大切さです。地域をみんなで守る取り組みが始まっています。積極的に参加しましょう。

総務部会

◇新潟中越大震災へ 一防災視察研修一

9月6日(木)～7日(金)の両日新潟県中越地域の小千谷市・長岡市へ 26 名が参加し震災後の防災状況を視察研修してきました。

研修は中越メモリアル回廊 ①おぢや震災ミュージアムそなえ館 ②妙見メモリアルパーク ③長岡震災アーカイブセンターきおくみらいを訪ね学習を深めました。



<おぢや震災ミュージアムそなえ館>

2004 年 10 月 23 日午後 5 時 56 分中越大震災が発生。マグニチュード 6.8、震度 7 の直下型地震に襲われ、地震が発生して 3 時間後～3 日後～3 年後の被災状況を学び、今後どのような「そなえ」が必要なのかを映像・地元の語り部さんより学びました。

～先進の IT 技術を生かした知的情報の集積拠点～

<長岡震災アーカイブセンターきおくみらい>

床面の中越大震災の被災跡が残る震災マップの上を、今回初めて持った Ipad を片手に歩きながら被災状況を確認、自分の目で個々の詳しい情報を把握でき「素晴らしい」との声が聞かれ先端技術の一部を経験し、中越地震の凄まじさを知ることができました。



◇防災講演会を開催

9月12日(水)長野建設事務所計画調査課の上條光主査を講師に招き第一地区公民館(27名参加)で土砂災害の前兆現象と土砂災害防止法と題して開催しました。



講師から次のような話がありました。

① 第一・第二地区の地質、地形について

第三紀層の凝灰岩であり液状化現象がおこりやすい。急傾斜地の崩壊の警戒区域 48 箇所、特別警戒区域 4 箇所または土石流の警戒区域 7 箇所、特別警戒区域 7 箇所ある。

② 土砂災害の前兆現象

土石流 流水の異常な濁り→流木の発生→水位の急激な低下→土石流発生

がけ崩れ 湧水量の増加→小石がパラパラ落下→湧水が濁る→亀裂発生→がけ崩れ発生

③ 地域防災の取り組み

通常時 住民の手でハザードマップを作成し災害図上訓練を実施する。

住民主体の防災および教育訓練を実施する(釜石市ではこれにより東日本大震災時に生徒全員約 3,000 人が難を免れた)。

豪雨時 土砂災害に対する前兆現象に注意し近所に声をかけながら早めに自主避難する。

今まで第一地区においては地震による災害のみを考えがちであったが土砂災害に対する検討も必要であり、近隣との連携による防災訓練の充実等防災に対する認識を新たにしました。

◇交通安全啓発活動に参加



「秋の全国交通安全運動」にあわせて交通安全協会に協力、9月25日(火)若松町交差点(11名参加)で通勤時の車及び歩行者を対象にパンフレットとティッシュペーパーを手渡しなが歩行・横断中の事故防止、夕暮れ時と夜間歩行中・自転車乗車事故防止、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、飲酒運転の根絶を呼びかけ街頭啓発活動を行いました。

今後の行事予定

開催日	行事名	場所	担当部会
10月17(水)18(木)日	ひとり暮らしふれあいの集い	17:第一地区公 18:新諏訪公	健康・福祉部会
10月21日(日)	キックベースボール大会	加茂小学校	教育・文化部会
10月25日(木)	社会を明るくする運動講演会	第一地区公民館	総務・安全防災部会
11月16日(金)	環境施設研修(市清掃センター)	清掃センターほか	環境部会
11月19日(月)	健康食推進講座	第一地区公民館	健康・福祉部会

◇戸隠でノルディックウォーキングを開催



9月4日(火)36名が参加し戸隠森林公園を巡るノルディックウォーキングを実施しました。奥社入り口で長野市保健所の宮入先生からポールを使った歩き方について指導を受け、奥社参道～随神門～遊歩道～森林植物園のコース約3kmを1時間かけて歩きました。途中クマ笹とブナ林の中、静寂と新鮮な空気を吸い下界の猛暑を忘れ高原の自然を満喫し爽やかなひとときを過ごしました。

◇「男の料理教室」を開催

今年度からの新規事業で9月18日(火)若松町杏林(参加者10名)で池田勝彦さんを講師に開催されました。玉ねぎ、人参等の切り方、炒め方、調味料のサジ加減について講師から手ほどきを受け「野菜炒め」作りに挑戦しました。調理の手つきは不慣れながら格好は一端の調理師でした。各人が作ったものを全員で試食し、味と炒め具合について意見を出し合いました。お昼はこの野菜炒めを使用した美味しい焼きそばをいただき満腹の様子で解散となり、参加者の皆さんから好評を博しました。



事務局職員を募集します！

- 【採用時期】 平成24年12月1日
- 【任用期間】 1年間(更新の場合あり)
- 【職種】 一般事務
- 【主な任用条件】 パソコン(ワード・エクセル)操作ができる者
地域コミュニティに関心のある者
- 【主な事務内容】 第一地区住民自治協議会の事務
「会議資料作成」「会計事務」「広報紙作成」「会議準備と会議出席」ほか
- 【勤務地】 長野市大字南長野新田町1485-1
長野市もんぜんぷら座8階 「第一から第五地区住民自治協議会合同事務所」
- 【給与・交通費】 時給制:800円 交通費:400円以内
- 【勤務日等】 月曜日から金曜日の5日間 (1日4時間勤務)
但し、会議及び事業が土・日に開催の場合は休日出勤も有り
- 【その他】 労働者災害補償保険・雇用保険加入
- 【応募方法】 履歴書を平成24年11月15日(木)までに下記へ提出、後日面接を行います



〈提出・お問い合わせ先〉 長野市役所 市民活動支援課(第一地区担当):倉島
住所:長野市大字鶴賀緑町1613番地 電話224-5033(直通)

◇「家庭と地域の子育て講座」を開催



8月11日(土)後町小学校(参加者30名)で開催されました。本年度で「無言清掃」「裸足の運動会」等の長い伝統と「夕焼け小焼けの草川信」はじめ多くの卒業生を送り出した輝かしい歴史が刻まれた後町小学校はH25年3月閉校となります。後町小学校長木内昇先生の「地域に支えられ共に歩んできた学校であるので、夏休み中の土曜日に学校開放をし、住民の皆さんに惜しみない別れをしていただきたい。」という願いにより、校舎巡回と「家庭と地域の子育て講座」を行いました。

講座では学力検査結果の分析と今後の指導のあり方をお聞きしました。指導改善・小中連携・家庭学習によって全体的には上向いている傾向があるが一層の努力が求められている。また、1年間子どもの育ちの研究実践事例を通して、子どもの真の姿を求め中での「認め」「励まし」などの言葉は、大きな可能性の伸長に繋がっていくことを説かれていました。教師も保護者も地域一人ひとりの真なる声掛けが求められています。

連載企画

往生地



人口：782人 世帯数：301世帯 (H24.9.1)



往生地は行政上の都合から戦時中昭和16年4月に認められた町名であり地名ではありません。大字西長野と大字長野狐池との両者にまたがっていた範囲をそれぞれ分離独立したものを合併してできた町です。

往生地として祭典する神社はありません。湯福神社の氏子で祭典には子供みこし等奉納しています。

往生地町が発足した頃は50~60戸位の農家で特に養蚕・りんご・ぶどう等が盛んでした。

昭和40年代には住宅が増え、特に夕陽が丘団地が新諏訪から往生地にかけて大きな団地が高級住宅地として出来ました。

町では公民館と区が協力して行う盆踊り大会やお地藏さん祭り、区民運動会、敬老の日などの行事は近年、特に子供さんが増えてにぎやかになり、これからも安心安全で明るく住みよい町になりますよう区民の皆さんと共に進んでまいりたいと思います。



まちづくり 第一地区に 笑顔の輪

◆第一地区住民自治協議会事務局：宮崎、岡村（第一から第五地区合同事務所内）◆
 〒380-0835 長野市大字南長野新田町1485-1 もんぜんぷら座8階
 電話：262-1217 (FAX兼) E-mail: dai1@clock.ocn.ne.jp
 編集委員：柄沢申一、古畑幸雄、松山嘉道、宮澤秀樹 市民活動支援課：倉島